



光沢や切りようは、疑いもなくダイヤですが、色があまりに鮮麗な青（ブリュー）ですから、どうかしたらエメラルドかも知れないと思いました。

が、エメラルドにしても、こんな素晴らしき品は、ジユマの小説の中へ出て来るモンテ・クリスト伯なら知らず、実在にはローマの大寺院や、ロシアの旧ロマノフ家にもあろうとは思われません。キャラットにして、百二十、いやどうかしたら百五十以上あるかも知れないのです。

「呪の金剛石」野村胡堂

